

平成28年12月16日(水)

平成28年度

洞北中だより

きずな

No. 30

文責：北九州市立洞北中学校 校長 笠原 鶴代

マレーシアの中・高校生10名と1週間交流しました。

ホームステイを受け入れてくださったご家族の皆様、交流に協力してくれた生徒・教職員・地域の皆様、心から感謝いたします。ありがとうございました。

大切にしたいこと

あいさつ・掃除・思いやり

12月12日(月)から18日(日)まで、マレーシアの中学生・高校生が洞北中学校を訪問しました。1週間本校生徒のご家庭(1年渡邊さん、白木さん、大庭さん、2年佐藤さん、大場さん、田中さん、和田さん、3年篠原さん、福田さん(石峯中))にホームステイをさせていただいて、本校の1・2年の英語の授業、全学年の給食、部活動等で交流をしました。最初は、みんな緊張していましたが、すぐに仲良くなって、最後の見送りの日には、ホームステイ先以外の生徒たちも集まって送ってくれました。マレーシアの生徒たちもたいへん喜んで帰りました。とても良い思い出ができたと思います。ありがとうございました。



マレーシアでは、ほとんどの人が、3ヶ国語(中国語、マレー語、英語)を話せます。相手に合わせて、使い分けています。仲間とは中国語、日本人やミッキー先生と話す時は、英語でした。



初めての授業。みんな、とても緊張していました。



自己紹介をしたり、いろいろな質問をしたりして、交流しました。

生徒の感想(2年女子)

外国の学生と触れ合うことは日常生活ではないので、こういうチャンスを作っていただけてとても楽しかったです。これまで英語を「勉強」として習っていたのが、こんな風に「つながり」として活用される喜びを知ることができる良い機会だったと思います。



みんな一生懸命伝えようとしています



17歳
ケイチ
ちゃん
です。



授業の最後に、学んだことを英語で発表できました。最高の授業でした。



最後に、マレーシアの踊りを紹介してくれました。いっしょに踊ってくれた皆さん、盛り上げてくれて、ありがとう！



給食をいっしょに食べました。日本の給食が、「おいしい！おいしい！」と言っていました。



島郷市民センターで「折り紙教室」の講師をされている江島さん（保護者）にいろいろな折り紙のおり方を教えていただきました。とても一生懸命に習って、おみやげに持って帰りました。



作った折り紙を持ってハイポーズ！



洞北中学校で、お習字のゲストティーチャーをさせていただいている松崎先生に、お習字を教えてくださいました。丁寧に手を取って教えていただき、みるみる上達しました。

マレーシアでは、中国系の人もいますので、小学校の時に1年間習字を習う人も多いそうです。



自分の中国名だそうです。

キ先生に一緒に練習しました。



茶道に挑戦！



ジャパニーズトムクルーズと
なぜか大人気の坂口先生！



教育委員会教育次長
渡邊義隆様も見学にお
いでくださいました。



ホストファミリ
ーの皆さんと
涙のお別れ！



赤ちゃん先生に参加！



たくさんの思い出をありがとうございました。また逢う日まで！